

科目名	疾病治療論Ⅲ (消化吸収・代謝・内分泌・排泄機能障害)					DP4 DP6	看護高等課程
学年	1年	分野	専門基礎 疾病の成り立ち	時間数	19時間	担当 教員	外部講師
科目 概要	対象の状態を適切に観察するためには、人間の身体機能が障害された時の病態と症状のつながりや診断と治療を理解し、予測も含めた看護の視点が必要である。看護実践に生かすために消化吸収・内分泌・代謝・排泄機能障害時の病態・症状・診断・治療について学ぶ。						
到達 目標	1. 人間の身体の消化吸収・内分泌・代謝・排泄機能に障害が起きた場合の病態と症状のつながりを理解することができる。 2. 消化吸収・内分泌・代謝・排泄機能障害の代表的な疾患の診断や治療法を理解することができる。						
回数	単元項目	授業内容				形態	担当教員
1～6	消化器疾患	食道の疾患（食道静脈瘤・食道がん）、胃の疾患（急性胃炎・慢性胃炎・胃潰瘍・胃がん）、腸の疾患（クローン病・潰瘍性大腸炎・その他の大腸の炎症・大腸の腫瘍）、肝臓の疾患（肝炎・肝硬変・肝臓のがん）、胆道の疾患（胆石症・胆嚢炎・胆嚢がん・胆管がん）、膵臓の疾患（膵炎・膵腫瘍）				講義	外部講師
	内分泌疾患	下垂体の疾患、甲状腺の疾患（バセドウ病・橋本病・甲状腺の腫瘍）、副甲状腺の疾患（副甲状腺機能亢進症・副甲状腺機能低下症）、副腎の疾患（副腎皮質の疾患・褐色細胞腫）、膵臓ランゲルハンス島の疾患					
7～9	腎・尿路疾患	腎臓の疾患（糸球体腎炎および関連疾患・腎盂腎炎・腎臓の腫瘍）、尿路の疾患、前立腺・精巣の疾患				講義	外部講師
10	試験	(1時間)				試験	
評価 基準	100点満点とし、6割以上を合格とする。また、授業時間数の3分の2以上の出席が必要となる。						
評価 方法	出席状況と講義への参加態度、筆記試験などで総合的に評価する。						
教科書	新看護学3 疾病のなりたち 医学書院 新看護学9 成人看護 [1] 成人看護総論 呼吸器 循環器 消化器 新看護学11 成人看護 [3] 腎・泌尿器 女性生殖器 皮膚 アルギン・膠原病 感染症						
履修上の 注意点							